

第 10 回 阿智村学校のあり方検討委員会 会議録

○ 会議日時 令和 7 年 10 月 10 日（金）午後 4 時

○ 会議場所 コミュニティ館 2 階ホール

○ 出席者 委員長：岡庭 潤 副委員長：伏木 久始 代田 昭久
委 員：熊谷 和洋 増田亜由美 熊谷 節子 近藤 忠雄
熊谷 直哉 上條 雪絵 原 耕 小笠原和司
逸見 貴子 井原穂奈美 佐々木哲志 櫻井 朱

【教育委員会 事務局】

教育長：黒柳 紀春 教育次長：實原 信夫 学校教育係：村田 浩一
学校教育専門主事：松澤 徹 佐々木 豊 川上 清宏
英語教育専門員：両角 明浩
(欠席 井原 毅委員 田島 佳世委員 熊谷 安倫委員
関 雅夫委員 白澤 裕次委員)

1 開会の言葉（教育次長）

2 教育長あいさつ

委員の皆さまには、本日の第 10 回学校のあり方検討委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。

9 月 30 日から始まった第 2 回地区懇談会も本日までに 4 地区が終了しました。出席者は会地地区 9 名、伍和地区 13 名、智里東地区 4 名、智里西地区 12 名となっております。今日はこの後、出席された委員より各地区の詳細な内容についてご報告をしていただくわけですが、ここまでの懇談会では、あり方検討委員会が提唱している 5 つの小学校と 1 中学校をまとめて義務教育学校を新たに整備する基本方針は、概ね評価いただいていると理解しております。

なお、事務局では今回の地区懇談会やパブリック・コメントで出された疑問や質問、ご要望等について、広報あちで好評の「教えて PART シリーズ」において Q & A 形式で回答してまいります。

少しでも、村民の皆さまに学校のあり方検討委員会の提言の内容がわかりやすく伝わるよう工夫してまいりますので、ご承知おきください。

それでは、本日の会議よろしくお願いいたします。

3 委員長あいさつ

教育長からのお話にもありましたように、懇談会は順調に進んでおり、すでに4回が終了しました。残りは3回となります。その進め方については、皆さんのご意見を伺いながら決めたいと思っています。

また、A I ツールを使ったスライドの説明は「わかりやすい」と好評でした。今後も、このような工夫を取り入れながら説明を行うのは有効だと考えています。

ただし、最終的に受け止めるのは人ですので、本日いただいたご意見をしっかりと受け止め、残りの懇談会、そして最終答申に向けて協議を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

4 協議

委員長

本日は、昨日までに行われた第2回地区懇談会と、昨日までに寄せられている第2回パブリック・コメントの意見について、情報共有をしたいと思います。また、教育委員会で行う保育園・小学校保護者懇談会の計画についても事務局より進行状況等を報告いただきます。最終答申骨子案に対する住民の皆さんからの反応も共有させていただき、来週の浪合地区と清内路地区、18日の全体懇談会に対応させていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

(1) 第2回地区懇談会の情報共有

①委員長

委員の皆さんのご参加ありがとうございました。それぞれ参加いただいたところで住民の方から出されたご意見や会場の雰囲気等ご報告いただき、共有していきたいと思っています。

《会地地区》

②A 委員

会地地区の懇談会では、参加者が9名でした。

その中には、第1回目の住民懇談会にも来てくださった方がいて、「継続して関心を持って見てくださっている」と感じました。

参加者の皆さんは、それぞれしっかりと意見を述べてくださったと思います。特に、「不登校への支援」などについての意見が多く出されました。

また、「C案」や中学校のあり方、今後の体制について、「移行の期間をもっと丁寧に、寄り添う形で進めてほしい」という声もありました。

決定内容そのものよりも、「その背景にある子どもたちや保護者の不安」に寄り添ってほしい、という思いが強く伝わってきたのが印象に残りました。

全体として、保護者からの強い反対意見ではなく、前回に続いてA I

を使った説明も「わかりやすかった」と好評でした。懇談会はとても良い雰囲気に進んだと思います。

③B 委員

1 回目は西地区の懇談会に参加し、2 回目は都合により自分の地区の会には出られませんでした。そのため両方を比較することはできませんが、全体としては「反対意見はほとんどなく、賛成の声が多かった」という印象を持ちました。特に印象に残ったのは、子どもたちに関するご意見です。

移行期間を設ける中で、「丁寧に対応してほしい」「時間をかけてしっかり進めてほしい」という提案があったように思います。

ただ、参加者の人数が少なかったことは少し残念に感じました。

④C 委員

C 案に賛成するという意見が多くありました。

一方で、移行時期や不登校の子どもたちへの対応などについては、保護者や関係者の方々から懸念の声もありました。これらの点については、今後の対応や説明を丁寧に行わないと、さまざまな不安や誤解が生じる可能性があると感じました。

⑤伏木副委員長

この委員会では十分に検討されていなかった点もありましたが、指摘の中には「C 案に限らず、どの案でも統合のプロセスが重要」という意見がありました。

つまり、単に統合するということではなく、その過程で必要な配慮、特に、さまざまな事情を抱えるご家庭や子どもたちへの思いやりが大切だという意見でした。

また、この場ではあまり話題になりませんでした。信州大学教育学部では毎年約 240 人の学生が学び、そのうち 200 人以上が小学校と中学校の両方の免許を取得しています。多くの卒業生が県内で教員として働いており、今後は小中一貫教育に対応できる教員がますます増えていく見込みです。さらに、来年度から「地域枠」という制度が新設され、地域出身の学生が優先的に採用される仕組みも始まります。

このような動きも、地域の教育を支えるうえで大きな意味を持つと考えています。

⑥D 委員

「統合までの期間に、子どもたちへの支援を大切にしてほしい」というご意見をいただき、なるほどと感じました。これまであまり意識していなかった視点でしたが、今後しっかり考えていかなければならないと感じています。

《伍和地区》

⑦E 委員

同じ地区の皆さんには声かけをし、参加人数は、ほぼ同じくらいでした。今回は、初めてPTA会長さんと保護者会長さんが参加してくださり、「来ていただけた」とうれしく思いました。

参加者の中には、同じように子育てをしているお父さん・お母さんたちの立場から、「気軽に話し合えるような場があるといい」「グループワークの形で不安を共有したい」という意見も出ました。今後もこのような機会を予定していると伺いましたので、これからが大切な時期だと感じました。

また、長年教育現場に携わってこられた方からは、「時代の変化とともに教育の形も子どもの姿も、家庭のあり方も変わってきている。その中でも“豊かな人づくり”がより一層大切だ」という意見がありました。

とても大事な視点だと感じました。

⑧F 委員

今回は、PTA会長さんや保育園関係の方が参加してくださいました。保育園世代のお父さんお母さん方が支えてくださったのが印象的でした。

また、前回も参加してくださった少し上の世代の方々が、今回も続けて来てくださり、継続して関心を持ってくださっていることがとても嬉しく感じました。

ただ、参加者の数がそれ以上に増えなかったのは少し残念でした。保育園や小学校の保護者の方々とも、もっとたくさん意見交換ができるような機会をつくるのが大切だと感じました。

⑨D 委員

内容が少し重なるかもしれませんが、私自身これから難しい議論になると感じている「あち探究学習」（仮称）についての質問がありました。

この質問を聞くたびに、「確かにここはこれからが課題だな」と感じ、住民の皆さんも、このテーマに対して期待と同時に不安を持っていると実感しました。

また、最後の8番にも書かれていますが、「懇談会ではもっと意見を出しやすい雰囲気にしてほしい」というご意見もありました。確かに、あの場では発言を控えてしまう方もいるのだと感じましたので、今後はさらに意見を出しやすい方法を考えていく必要があると思いました。

《智里東》

⑩G 委員

智里東の懇談会では、参加者が4名でした。参加者が想定よりも少いため、意見に多少の偏りがあった可能性も感じています。

しかし、その中でも全員がC案に賛成しており、方向性が明確になったと理解しています。また、参加者の皆さんがC案のより具体的な内容に強い関心を持っておられることも伝わってきました。

今回は女性の参加者がいなかったため、その視点からの意見を聞くことができなかったのは少し残念でした。ただ、お話の中では、今後の取り組みの参考になるような考え方や思いを、それぞれの立場から語ってくれて、とても意義のある時間になったと感じています。

特に、「子どもを育てるのは学校や文部科学省だけでなく、地域の大人全員で育てていくべきだ」というご意見が印象に残りました。その言葉に深く共感し、強く心に残りました。

⑪H 委員

文部科学省のカリキュラムだけで子どもを育てるのではなく、地域が主に関わるということが重要だというご意見がありました。「地域全体で子どもたちを育てる」という考え方のもと、地域との関わりを積極的につくっていくことが大切だと感じました。

また、その後の「スクールコミュニティ構想」を具体的に実現していくプロセスも非常に重要であり、今後の取り組みにおいて大切にしていく必要があると感じました。

⑫D 委員

地域を学びの場として活用することについて、詳しい説明を求める質問がありました。また、教育と福祉の両方を同時に実現していくという視点についても、意見が出されました。

《智里西》

⑬I 委員

今回の懇談会には12名が参加しました。参加者の顔ぶれは、第1回目とほぼ同じでしたが、新たに初めて参加されたご夫婦もいらっしゃいました。

残念だったのは、夜間に予定されていたソフトボールの試合が延期しており、消防団や若い世代の参加が少なかったことです。前回は子育て世代から貴重な意見が出ていたため、その世代の不在は少し残念でした。それでも、12名もの方に参加していただきました。

議論の内容としては、義務教育学校に関する質問や意見が多く出ました。C案の方向で進める場合の、不登校児への対応についての不安、山村留学に関する質問、義務教育学校制度全般への質問、中学生向けの活動や対外活動（中体連など）に関して、義務教育学校でどうなるのか、また、B案についても、「さまざまな制約があるのに、なぜ委員会として提案したの

か」という質問もありました。

全体としては、新案（C案）に賛成する意見が多かったようです。私の地区では、すでに小学校の統廃合を経験しており、地域内に小学校がない状態で、スクールバスで小中学校に通っています。そのため、今回のC案に対する抵抗感はあまりない印象でした。

さらに、地区の方々からは「私たちの地区はこうして頑張っている」ということを、他の地区にも伝えてほしいという意見がありました。小学校の統廃合をきっかけに地域づくりを進めてきた経験があるため、C案の場合は、智里西地区としても全力で協力・参加していきたいという考えを示していただきました。

最後に、説明会の方法についても意見がありました。資料や説明の内容を統一し、全員に正確に伝えることが重要であり、今回のように説明資料を活用する方法は良かったという評価がありました。

⑭D 委員

私が特に心を動かされたのは、I 委員さんがおっしゃっていたことです。「46 年前に学校の統合を決めたのですが、阿智村の皆さんや他の地域の方々も、学校がなくなることへの不安はあると思います。それでも、『地域をどう盛り上げるか』を考え、協力しながら地域をまとめてきました。その結果、今こうして元気に地域活動が続けられていることを、ぜひ他の地域の方にも伝えてほしい」というお話でした。46 年前にはきっと大変な活動があったのだらうなと想像し、それを乗り越えて今のようになっているのだと感じました。

⑮代田副委員長

委員の皆さんがおっしゃったことと重なる部分もありますが、本当に貴重な機会だと感じました。委員会では気づかない視点や考え方の意見を単に記録するだけでなく、必要であれば取材に行ってさらに深掘りしてよいと感じました。

また、お話しくださったように、学校統合後も地域を盛り上げるために努力してきた地域の実践は、私自身知らなかったことも多く、ぜひ他の地域の方々にも伝えてほしいと思いました。

一方で、智里東の説明会では、「学校だけが子どもを育てるのではなく、地域全体で育てていく」という考え方が示されました。スクールコミュニティについても具体的なアイデアをお持ちで、その内容を後半の取材や議論に生かすことも有効だと思います。

さらに、学校が統合・閉校された地区で、どのように地域活動や学習を継続していくかは大きな課題です。その中で、「あち探究学習（仮称）」についても、具体的な取り組み例を示すことで、より説得力があり、参加者

も安心できると思います。

いずれにしても、教育委員会の皆さんが忙しい中で費やしてくださった時間は、確実に成果として積み重なっていると感じました。

⑩委員長

以上、4地区の経過を発表していただきましたが、これから参加される地区のみなさんはいかがでしょうか。一言ずついただけますか。

⑪J 委員

浪合地区です。おそらく、多くの方が集まる場になると思いますが、なかには個人的な意見を持つ方もいらっしゃると思います。子どもにとって最善な方法を考えることが大切で、その点について意見を伺いながら、統合の可否や具体的な進め方についての意見が多く出るのだろうと考えています。現時点でははっきりとした結論は出ていませんが、今後の議論を通して整理していくことになると思います。

⑫K 委員

来年、保育園は休所になる予定です。その際に、地域や子どもたちの対応について、さまざまな意見が出ています。年配の方々からは、「1人や2人になっても地域が疲弊するから、保育園は残すべきだ」という意見が多く聞かれました。一方で、実際に子どもを育てている保護者の方々からは、「少人数で1か所に集めても、将来の人間形成に十分なのか」といった意見もあり、単に地域を守るだけでなく、子どもたちの教育の質についても真剣に考える必要があるとの声がありました。ある程度集団生活を経験し、教育の基本的な考え方を学ぶことは大切だと、多くの子育て世代の方々が考えておられます。

これまでの議論では、年配の方々の意見が多く、地域の疲弊を懸念する声を中心でした。しかし、保護者会やPTAの方々との話し合いを通して、「地域から学校や保育園がなくなった場合、子どもや保護者とどのように関わり、地域づくりを進めていくか」という考え方が重要だとわかりました。

今後のプロセスにおいても、文部科学省や教育委員会が地域を作るのではなく、地域に住む人々自身が、状況に応じて子どもや保護者とどうコミュニケーションを取るかが大切だと、今日改めて強く感じました。

これからの懇談会でも、皆さんの意見を聞きながら、より良い方向に進めたいと思います。

⑬L 委員

智里西地区の統合についての経験談を聞き、そのご意見には本当に共感し、感動もしました。

清内路地区でも中学校が統合された経緯があり、その経験から、地域の

方々は比較的統合に理解があるのだと感じます。第1回目の懇談会でも多くの保護者が参加されましたが、今回もどれくらいの方が参加されるのか、どんな意見が出るのか楽しみにしています。

また、清内路地区には花火などの伝統行事があり、小学生が絵を描いたり、地域の活動に参加したりする取り組みもあります。こうした地域の文化や活動を生かしながら、子どもたちの探究活動を進められると感じます。これは今後の課題ではありますが、十分可能だと思います。今回の懇談会の中でも、思った以上に切実な質問や意見が出ていたことに、改めて気がつきました。

②⑩教育長

情報共有ができたと思います。伍和地区で出されましたグループ討議の時間についてはこの後でお諮りしたいと思います。

②⑪松澤専門主事

委員長からご説明いただいたとおり、伍和地区の懇談会では、グループ討議などを取り入れることで、参加者が意見を出しやすい雰囲気になるという意見が出ました。私もその様子を見て、とても良い方法だと感じました。

そこで、全地区対象の18日（土）の懇談会では、いくつかの小グループに分かれて意見交換をしてもらう時間を設けようと考えています。グループで話し合った内容は発表してもらい、全体で協議する形にすると良いのではないかと考えています。当初は想定していませんでしたが、全地区対象で時間も1時間半ほど確保しており、会場の広さを考えると、5つ程度のグループで進めることが可能だと考えています。

また、当日参加される委員の方には、各グループに入って進行役やコーディネーターとしてお手伝いいただけると、さらに円滑に進められると思います。各委員の皆様には、グループ討議の補助をしていただく形でご協力をお願いしたいと考えていますが、その点について問題はありませんか。

②⑫委員長

ぜひご協力をお願いします。

（2）第2回パブリック・コメントの途中経過の情報共有

①委員長

次に、地区懇談会と並行して実施しています第2回パブリック・コメントの昨日までの公募意見について、事務局より情報共有をお願いします。

②松澤専門主事

それでは、昨日までに寄せられたパブリック・コメントへのご意見の報

告と共有をさせていただきます。資料をご覧ください。昨日までに6名からご意見をいただいています。その内2名の方は、教育委員会にご意見提出用紙をお届けいただきました。直接いただいたものは、私の方でフォームに入力してあります。

いただいたご意見は、概ねC案賛成の立場でした。その上で、今後検討していかなければならない課題を指摘いただき、懇談会での提案の仕方について助言していただくような内容もありました。

第1回目のパブリック・コメントの時も締め切り間際に回答数が急増しましたが、今回は前回と比べて公募人数が少ないようです。引き続きパブリック・コメントへのご協力を呼び掛けていくことも考えたいと思います。

③委員長

短時間でざっと目を通していただき、気になる点や、特に発言したほうがよいことがあればお願いします。

コメントが少ないので、全体としては概ね問題なく、内容に大きな修正や補足はないのではないかと思います。

(3) 保育園・小学校保護者懇談会について

①委員長

続いて、教育委員会主催で計画している保育園・小学校保護者懇談会について、事務局、情報共有をお願いします。

②松澤専門主事

保育園・小学校保護者懇談会開催についてのお願い文書をご覧ください。

11月17日から12月5日の間に、各小学校を会場として、学校・PTA・保育園保護者のご都合を調整いただくよう依頼したところです。

日程と場所については、現在3か所が決まっています。

各小学校・保育園の懇談会の日程については、以下のとおりです。

ア) 第一小学校・あふち保育園

12月2日(こま回し大会後)、午後3時から1時間の予定です。

イ) 第二小学校・伍和保育園

(詳細は不明ですが、日程は調整中です)

ウ) 浪合小学校・浪合保育園

12月3日、夕方6時30分から開催されます。

エ) 第三小学校・智里東保育園

11月21日の参観日に合わせて開催され、午後4時40分から予定されています。保護者が参加しやすい時間を考慮しています。各懇談会でも、小グループでの意見交換を取り入れて進めていきたいと考えています。そのため、各学校にも協力をお願いし、計画を進めます。

配布資料には、案内の一番下にQRコードも掲載してあります。保育園・小学校保護者に、パブリック・コメントへの参加を呼びかける予定です。パブリック・コメントの締め切りは10月21日です。来週早々には、それぞれの会場や内容も決まりますので、議題の確認や保護者への協力依頼も進めていく予定です。

③I 委員

一点お願いします。第一小のところに智里西保育園を入れてください。

④A 委員

懇談会の日程や時間について、いくつか課題があります。

まず、第一小学校では午後3時から4時に設定されていますが、保育園のお迎えが午後4時までのため、保育園の保護者は参加が難しい状況です。この場合、保育園で園長やスタッフに対応してもらうことも考えられますが、その費用や負担の有無についても明確にしておく必要があります。

浪合小学校では夕方6時半から懇談会が予定されていますが、夜の時間帯は参加しにくい保護者もいます。過去のパブリック・コメントでも、「運動会の週で夜の7時からでは関心があっても参加できなかった」という意見がありました。このように、夜間の開催は参加のハードルになるため、子どもの託児や安全面についても事前に明記する必要があると思います。

また、チラシには子どもに関する情報が記載されていないため、保護者は「小学校1年生を連れて参加しても大丈夫か」と感じる場合があります。今後は、保育園のお迎え時間や託児の対応など、具体的な情報をしっかり書くことが重要だと思います。

最後に、「パブリック・コメントを実施します」と書かれていますが、懇談会のことではなく、現在実施中のパブリック・コメントの再告知であることを明確にして、「実施しています」と表現したほうがわかりやすいと思います。

⑤松澤専門主事

「しています。」という表現に変えたいと思います。

3時45分から4時の間、お迎えは困るということでしょうか。

⑥A 委員

3時から4時だと、保育園に迎えに行くのだったら、3時半には第一小を出なければいけない。3時から4時に懇談会をやるということは、その人たちが参加できない、もしくはいいところで抜けなければいけないということなんです。

⑦松澤専門主事

3時半には終わっていればいいということでしょうか。

⑧M 委員

保育園を延長してもらい、延長料金を何とかしていただければ、気楽に出られると思います。

⑨松澤専門主事

懇談会を4時までには終わると決めればよいということですか。

⑩A 委員

そこは保育士さんや園長さんがいるかどうかということもあるので、簡単には言えませんが、延長をしていただいて、4時半までは無料であれば、出やすくなると思います。この日はPTA役員決めもあると思うので、時間が厳しくはなりますが。

⑪教育長

まだこれから懇談会も行いますので、延長保育については村で費用を出したいと思います。

⑫I 委員

保育園だけでなく、小学生も見てもらいたいということになります。前回、見てもらえないからという理由で帰られた方もいました。

⑬教育長

細かいところは後で詰めていきたいと思います。11月になると村政懇談会も始まります。村で行う懇談会についても、総務課で14日までに調整中です。この懇談会と、保育園・小学校保護者懇談会についても同じで、学校の都合を聞き調整していかなければいけない。難しいところはありますが、何とか調整していきたいと思っています。

5 協議のまとめ（伏木副委員長）

はじめに教育長と委員長の挨拶の後、それぞれの地区懇談会の概要について担当者から報告がありました。報告の中で新たな意見もあり、今後の検討会議の参考になる内容だと感じました。

また、パブリック・コメントについても資料をいただきました。件数は少ないものの、今後の計画に活かせる意見が含まれていたと思います。

保育園・小学校保護者懇談会については、日程や子どもの預かりなどが必要だという意見が出されました。保護者が参加しやすいように、懇談会の時間や保育の対応などについて、今後の運営に反映していただく形で進めたいと思います。

さらに、グループ討議の時間を設けることについても話がありました。

実際に山ノ内町では、各グループに事務局のスタッフが1人ずつ入り、記録係として進行を補助する形でグループ討議を行っています。コーヒーやお菓子の提供もありますが、町の予算ではなく、運営側で対応可能な範囲で行われています。

6 連絡

第6回小委員会 【非公開】

令和7年10月30日（木）16：00～18：00

コミュニティ館2階 ホール（公民館となり）

第11回委員会 【非公開】

令和7年12月19日（金）16：00～18：00

コミュニティ館2階 ホール（公民館となり）

7 閉会の言葉（教育次長）

（閉会 午後5時12分）

教育長・委員長 署名／捺印